

音合わせ心ひとつに「ら」でチューニング… Central Aichiの情報をお届け

定期演奏会ブラームスイヤーのフィナーレ!

「ブラームス、ブラームス、ブラームス」を合言葉に繰り広げてきた定期演奏会もあと2回。新年の幕開けはクラリネットソナタとブラームス最後の交響曲 第4番。そして2月は、美しいヴァイオリン協奏曲。ベートーヴェン 交響曲 第5番「運命」の力強い音楽とともに、心の中に永遠の感動を刻みます。しらかわホールでの最終回、新たな年度へ向かう華々しいフィナーレ、ぜひ一緒に!

PIC UP

01

第201回定期演奏会 ～冬～

指揮 **齊藤一郎**

SPECIAL INTERVIEW

ブラームスシリーズの定期演奏会も終盤になりましたが、齊藤さんは今回の演奏会をどのようなものにしたいとお考えですか?

短い期間にブラームスという一人の作曲家に焦点をあて、名演を展開してきたセントラル愛知交響楽団の皆様には敬服いたします。私が常任だった時に取り上げた交響曲は4番と2番でした。今回再び4番を指揮できることはこのうえない喜び、感謝の思いでいっぱいです。プロの世界では「ブラームスの演奏を聴けばオーケストラの実力がわかる」と言われています。現在のセントラルはこれまでで一番の高みに到達しているはず。楽団員の皆様とともに質の高い音楽をお客様にお届けできるよう、一心不乱に指揮台に上がるつもりです。

齊藤さんはブラームスにはどんな思いをお持ちですか?

指揮者なら誰しも、その人を指揮者とならしめた感動体験を持っているでしょう。私にとっては1986年にミュンヘン・フィルがセルジュ・チェリビダッケとともに初来日した公演がそうです。この時演奏されたブラームスの交響曲第4番はまさに身体中に電流が流れるような凄まじい音楽でした。その十年後、芸大指揮科で私が学んだ師匠はチェリビダッケの弟子でした。当時マーラーが流行っていましたが、師匠は「シンフォニーの最高峰はブラームスである」といつも言っていました。今はその気持ちがわかります。

ブラームス作品は交響曲第4番の他に、今回はクラリネットソナタ(管弦楽版)も演奏されます。この公演全体の聴きどころをお聞かせください。

作品120の2曲のクラリネットソナタにはヴァイオリン版があり、調も構成も全く同じです。ヴァイオリン奏者にとっては大変重要なレパートリーで、オーケストラ入団の最終オーディションでは必ずこの曲が選択肢にあります。私も何度か伴奏をしたことがあります。この曲は4番の交響曲から10年後、ブラームスの円熟期に書かれ、音楽の造形を究極の美しさまで導いた作品です。ロサンジェルス・フィル委嘱によるペリオのアレンジは、「ブラームス先生に怒られないよう敬意をもって編曲します!」という声がスコアから聞こえてきます。クラリネット奏者が人生を賭けることのできるレパートリー。幾多の名演をセントラルで繰り広げてくれた箱崎さんのソロに是非注目して下さい。



©Studio Diva

PIC UP

02

第202回定期演奏会 ～高みに向かって～

ヴァイオリン **神尾真由子**

SPECIAL INTERVIEW

2019年に活動拠点を日本に移されて、現在大学で教鞭をとりながらの演奏活動です。両立する上で何か心がけていらっしゃることはありますか?

生徒、そして息子(8歳)には、言葉による指導ではなく背中です、ということをお心掛けています。先生(親)がだらしない様子を見せたら、一瞬で尊敬を失うので、自分がまず真面目に仕事に取り組んでいる様子を見せたいと思っています。

当団とは過去に2回共演いただきましたが、どのような印象をお持ちですか?

とても暖かいメンバーの方で、安心して演奏できた記憶があります。

当団の今年度定期演奏会のテーマは「ブラームス・ブラームス・ブラームス」ですが、ブラームスには神尾さんはどんな印象をお持ちですか?

偉大なるメロディーメーカーであり、ハーモニーメーカーであると思います。ブラームスの良さは幾十にも重なった層の厚みが繊細な色彩感にあると思うので、楽器数の多いオーケストラの音楽が真骨頂だと思います。

今回はブラームスのヴァイオリン協奏曲で共演していただきます。

初めて演奏したのは15歳くらいの時でしたが、「伴奏」っぽいパートも多いので難しく感じました。しかしながら、第2テーマや、第1楽章終盤の美しさは筆舌に尽くし難いものがあり、とても感動して、当時、自分自身で第2テーマの着メロを作りました。今もその時感じた想いに変わりはありません。

神尾さんとの演奏会は当団40周年のアニヴァーサリーイヤーの最後を締めくくる演奏会となります。来場される皆さまにメッセージをお願いいたします。

記念すべき演奏会に呼んでいただき光栄です。指揮者の角田さんと共に、締めくくりに対応しい演奏ができるように張り切って演奏したいと思います。

今後取り組まれる作曲家や楽曲を含め、ご自身の音楽活動の展望をお聞かせください。

まずは、いただけるお仕事をできる限りやりたいと思っていますが、最終的には裾野を広げる活動にも挑戦していきたいと思っています。



©Makoto Kamiya



24 **1/19** 金 [開演 18:45] 三井住友海上しらかわホール
 プラチナ¥6,000(完売) A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 U25¥1,000
第201回定期演奏会 ～冬～
 ◎出演/齊藤一郎、箱崎由衣(Cl)
 ◎曲目/ホルスト:冬の牧歌、ブラームス(ルチアーノ・ペリオ編曲):クラリネットソナタ 第1番 へ短調 Op.120-1(管弦楽版)、
 ブラームス:交響曲 第4番 ホ短調 Op.98



24 **2/23** 金祝 [開演 14:30] 三井住友海上しらかわホール
 プラチナ¥6,000(完売) A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 U25¥1,000
第202回定期演奏会 ～高みに向かって～
 ◎出演/角田鋼亮、神尾真由子(Vn.)
 ◎曲目/ステンハンマル:演奏会用序曲「エクセシオール! (天の高みに昇らん)」、ブラームス:ヴァイオリン協奏曲 二長調 Op.77、ベートーヴェン:交響曲 第5番 ハ短調 Op.67